

「富山県高齢者保健福祉計画及び第5期介護保険事業支援計画」の構成

【基本目標】

すべての高齢者が、人として尊重され、健康で生きがいをもちながら、
住み慣れた地域で安心して暮らせる社会の構築

～地域包括ケア体制の実現を目指して～

【施策の柱・重点項目・主要施策】

1 元気高齢者自らの努力を支援する

①若いときからの健康づくり

- 1) 健康の保持・増進
- 2) 生活習慣病予防等
疾病対策の推進
- 3) 健康づくりを支援
する環境整備

②元気な高齢者の
活躍の場の拡大

- 1) 意欲や能力に応じた
就業・起業支援
- 2) ボランティア・NPO活
動等の社会参加の促進
- 3) 生涯学習・スポーツ等の
生きがいづくりの推進

③介護予防の推進

- 1) 介護予防の普及啓発と
介護予防活動の推進
- 2) 生活機能低下の早期発見
と早期対応の推進
- 3) 地域リハビリテーション
の推進

2 要介護高齢者を社会全体で支える

①在宅と施設のバランスのとれた
介護サービスの充実

- 1) 地域に密着した在宅サービスの充実
- 2) 医療と介護の連携による在宅ケアの推進
- 3) 重度者を支える施設ケアの充実
- 4) 在宅復帰に向けた施設ケアの充実
- 5) サービスの質の向上と利用者への支援
- 6) 介護保険制度の適正な運営の確保

②認知症高齢者施策の推進

- 1) 認知症の普及啓発と予防・早期発見
の推進
- 2) 認知症の医療・ケア体制の整備
- 3) 認知症地域支援体制の構築
- 4) 認知症の総合的な支援体制の推進

3 高齢者と家族を地域で支える

①保健・福祉の人材養成
と資質向上

- 1) 保健・福祉・生きがいづくりのボランテ
ィア養成
- 2) 保健・福祉の人材養成と確保
- 3) 介護サービスを支える人材養成
と資質向上

②地域生活支援体制の整備

- 1) 多様な人材や社会資源を活用した
総合的な支援体制の推進
- 2) 住み慣れた地域における多様な住まい
の提供
- 3) 高齢者にやさしいまちづくり
- 4) 災害時における要援護者支援体制の整備
- 5) 権利擁護の推進と相談支援体制の整備

介護サービス量等の見込みと基盤整備目標 【第5期：介護保険事業支援計画】

【計画の推進】

計画推進に向けた役割分担、計画の普及と進行管理

平成 25 年度の主な県事業（新規・重点等）

新…H25 新規事業、拡…H25 拡充事業

I 元気高齢者自らの努力を支援する

1 若いときからの健康づくり

(1) 望ましい生活習慣の確立の推進

<運動習慣の定着>

① 県民歩こう運動推進事業（県内 2 ヶ所） 【健康】

- ・ H25 予算額 4,100 千円
- ・ H25 実績 2 回 参加者 900 人

② 元気とやまウォークラリー（県内 2 ヶ所） 【ス・保】

- ・ H25 予算額 1,900 千円
- ・ H25 実績 2 回 参加者 1,600 人

<望ましい食生活への改善>

① 健康づくり食生活改善推進事業【健康】

健康づくりの知識の普及啓発のため地域のリーダーを育成支援
県民の自発的な健康づくりの推進

- ・ H25 予算額 225 千円
- ・ H24 実績 健康づくり食生活指導者育成講習会（2 回 計 83 人）
健康づくり食生活改善実践講習会（100 回 計 2,944 人）

② 三世代ふれあいクッキングセミナー【健康】

食を通じた 3 世代のふれあい交流と各年代の健康づくりの推進

- ・ H25 予算額 800 千円【国 1/2, 県 1/2】
- ・ H24 実績 103 回 参加者 4,071 人

<歯・口腔の健康>

① 新歯科口腔保健支援対策事業【健康】

医科、歯科連携の推進、要介護者等への在宅歯科診療の推進など。

- ・ H25 予算額 9,210 千円
- ・ H25 実績 「富山県口腔保健支援センター」を設置(H25. 11. 8)

(2) 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底、がん対策の推進

① 新がん相談支援センター設置事業【健康】

治療のほか、介護、就労等の幅広い相談に対応できる総合相談窓口を富山県総合福祉会館（サンシップ）に設置(H25. 9. 2)

- ・ H25 県予算額 15,890 千円

② 新がんのピアサポート（がん経験者による相談支援）推進のための研修の実施【健康】

- ・ H25 県予算額 1,200 千円
- ・ H25 実施状況：30 名程度養成予定

2 元気な高齢者の活躍の場の拡大

①エイジレス社会活動推進事業【高齢】

「65歳以上は老人」意識の転換のための普及啓発等

- ・H25 県予算額：19,512 千円
- ・エイジレス社会づくり県民大会の開催〔H25 実績 H25.10.9 県民会館 参加者約 1,000 人〕
- ・エイジレス社会活動推進顕彰〔個人 9 人、団体 4 団体〕
- ・社会活動推進セミナーの開催〔県内 4 ヶ所で開催〕
- ・社会貢献モデル創出支援事業〔1 事業〕
- ・高齢者が活躍するエイジレス人材の育成活動促進事業（人材育成の講座の開催等）

②とやまシニア専門人材バンク事業【労雇】

就労を希望する専門的知識・技能等を有する高齢者を登録する人材バンクを設置し、高齢者の就業と県内企業の人材確保を総合的に支援（H24.10.1 開設）

- ・H25 県予算額：14,300 千円
- ・場 所：とやま自遊館 2 階
- ・開所時間：平日 9 時～17 時
- ・登録状況（H25.12 月末現在）：求職者 615 人、求人企業 318 社、
求職者のうちバンク開設以降の就職者 299 人

③老人クラブ訪問支援活動支援事業【高齢】

老人クラブによる独居老人等への訪問支援活動を助成

- ・H25 県予算額：6,475 千円
- ・H25 実施状況：訪問活動を行うリーダー養成研修終了者 217 名

3 介護予防の推進

①介護予防推進対策事業【高齢】

介護予防におけるケアマネジメントやサービスの質を確保するため、市町村等介護予防担当職員研修等を実施

- ・H25 県予算額：2,480 千円
- ・H25 実施状況：地域包括支援センター職員研修 全 3 回 延べ受講者約 240 人（予定）

〔参考〕

介護予防事業の実施状況【高齢】

	H18 年度 (2006)	H23 年度 (2011)	H24 年度 (2012)
2次予防事業対象者数 〔65歳以上人口に対する割合〕	1,935 人 〔0.7%〕	30,139 人 〔10.4%〕	40,590 人 〔13.4%〕
介護予防事業参加者数			
通所型介護予防事業 〔2次予防事業対象者のうち参加割合〕	2,706 人 〔 8.0%〕	1,825 人 〔11.6%〕	3,252 人 〔 8.0%〕
訪問型介護予防事業 〔2次予防事業対象者のうち参加割合〕	370 人 〔1.1%〕	523 人 〔3.3%〕	325 人 〔0.8%〕

※高齢福祉課調べ

Ⅱ 要介護高齢者を社会全体で支える

1 在宅と施設のバランスのとれた介護サービスの充実

(1) 富山型デイサービス（地域共生ホーム）の推進【厚企】

高齢者、障害者、児童等が障害の有無や年齢にかかわらず、誰もが住み慣れた地域において、デイサービスなどの多様な福祉サービスを受けられる富山型デイサービス事業所の整備等に対し支援

・富山型デイサービス事業所数（H25.11月） 96事業所

①富山型デイサービス施設支援事業

新築、改修による富山型デイサービスの整備等への補助等

新築による整備：基準額 12,000千円 【県1/3、市町村1/3】

改修による整備：基準額 6,000千円 【県1/3、市町村1/3】

改修による機能向上：基準額 6,000千円 【県1/3、市町村1/3】

・H25 県予算額 38,200千円

・H25 実績 交付決定数 8件

②富山型デイサービス起業家育成講座

富山型デイサービスの起業家を育成するための研修会を開催

・H25 県予算額 600千円

・H25 実績 全5回 受講者 56人

③新地域共生型福祉モデル発信事業

富山型デイサービスの歴史等をまとめた冊子の作成や、福祉現場の視察ツアーなどを通じて、本県の地域共生の取組みを全国に向けて発信

・H25 県予算額 11,000千円

・H25 実績 冊子『とやまの地域共生 富山型デイサービス 20年のあゆみとこれから』作成

配布先：(10/19, 20)地域共生ホーム全国セミナー参加者、都道府県福祉担当部局等

視察ツアー実施 10月17日 2コース実施 31名参加

10月21日 6コース実施 74名参加

(2) 地域密着型サービスの充実【高齢】

①新定期巡回・随時対応型訪問サービス普及支援事業費

・H25 県予算額 1,800千円

事業参入機運を高めるための事業者向けの研修会を開催（参加者 120人）

サービス普及支援アドバイザーを派遣（派遣先 7事業所）

訪問介護と訪問看護のとの連携等に関する研修会を開催（5回開催、受講者 104人）

[参考]

定期巡回・随時対応型訪問サービスの指定状況

・5事業所（H25.12月末現在）

(3) 医療と介護の連携による在宅ケアの推進

①在宅医療推進県民フォーラム開催事業【高齢】

県民の在宅医療に対する意識と理解を深めるため、広く県民を対象としたフォーラムを開催

- ・ H25. 11. 24 (日) タワー111 スカイホール
- ・ 参加者 約 380 人
- ・ 内 容 特別講演 小山明子氏 (女優)「妻として・女優として～夫大島渚と過ごした日々～」
基調講演 武藤正樹氏 (国際医療福祉大学大学院教授)
「これからのチーム医療と地域連携」
シンポジウム 「自宅ですっと暮らしたいあなたへ～チーム de 在宅医療のすすめ～」
(シンポジスト 5名)

②在宅医療支援センター支援事業【高齢】

各医療圏の群市医師会が開業医グループ等の活動を支援するために設置するセンターの運営経費を助成

- ・ 事業内容 (例) 定例会議等の開催、グループ内の情報共有支援、管内開業医への在宅医療に関する情報提供、多職種研修会、等
- ・ H25 県予算額：24,000 千円 (6,000 千円×4 医療圏)【国 10/10】
- ・ H25 実施状況：設置数 9ヶ所 (予定)

医療圏	センター名	医師会
新川医療圏	新川地域在宅医療支援センター	下新川郡医師会・魚津市医師会
富山医療圏	富山市医師会在宅医療支援センター	富山市医師会
	中新川郡医師会在宅医療支援センター	中新川郡医師会
高岡医療圏	高岡市医師会在宅医療支援センター	高岡市医師会
	氷見市医師会在宅医療支援センター	氷見市医師会
	射水市在宅医療支援センター	射水市医師会
砺波医療圏	砺波在宅医療支援センター	砺波医師会
	小矢部市在宅医療支援センター	小矢部市医師会
	南砺市医師会在宅医療支援センター	南砺市医師会

③訪問看護支援強化事業【高齢】

訪問看護サービスを安定的に供給し、在宅療養環境の充実を図るため、県看護協会の「訪問看護ネットワークセンター」において訪問看護の PR や相談対応等を実施。

- ・ H25 県予算額 5,000 千円
- ・ H25 実績
 - ア 訪問看護相談窓口の開設 [H25 実績 (H25. 12 月末現在) 相談件数 478 件]
訪問看護の利用に関する相談 (対象：利用者家族等)
訪問看護の運営・開設の相談 (対象：訪問看護事業者、開設希望者)
 - イ 訪問看護の PR
イベント等での相談会 [8 回 相談者 598 人]
医療機関での利用者向け相談会 [8 病院 25 回 相談人数 210 人]
 - ウ 訪問看護ステーションの機能強化
訪問看護師に対する技術支援、研修会開催等
 - エ 認定看護師養成支援 (教育課程受講に係る経費への補助) [受講者 1 人]

④新在宅医療支援体制促進モデル事業【高齢】

在宅療養者の急変時受入体制づくり検討への支援

- ・H25 県予算額：1,600 千円（800 千円×2 市町村）
- ・H25 実施状況：実施数 2 市町

⑤新在宅医療多職種連携体制促進事業【高齢】

市町村（地域包括支援センター）において、患者情報共有システム導入等を通じて、医療、介護の多職種による連携体制の整備を進める。

- ・H25 県予算額：2,000 千円【地域医療再生基金・9月補正】
- ・H25 実施状況：実施数 3 市

⑥新地域医療再生マイスター育成支援事業【医務】

在宅医療の体制充実が必要な市町村において、住民参加型地域包括ケアシステム推進のための「地域医療再生マイスター養成講座」を開催する。

- ・H25 県予算額：5,000 千円【地域医療再生基金・9月補正】
- ・H25 実施状況：実施数 2 市

⑦医療系ショートステイ病床確保事業【高齢】

介護者の急病・急用時などで在宅療養者が緊急にショートステイが必要となる場合に備え、医療系ショートステイ用の病床を確保することにより、在宅で療養する高齢者等の安心の確保、在宅医療の推進を図る。

- ・H25 県予算額：16,800 千円（4,200 千円×4 医療機関（8床））【国 10/10】
- ・H25 実施状況：設置数 4 医療機関（8床）（H26.1.1 現在）

桜井病院（黒部市／新川医療圏）

光ヶ丘病院（高岡市／高岡医療圏）

いま泉病院（富山市／富山医療圏）

あおい病院（砺波市／砺波医療圏）

利用率（H25.4月～9月） 30.2%

⑧訪問看護ステーション設備整備事業【高齢】

訪問看護ステーションの新規開設に係る設備整備費用の補助

- ・H25 県予算額：3,000 千円
- ・H25 実施状況：4 か所（2,985 千円）

[参考]

訪問看護ステーションの指定状況

- ・46 ステーション（H25.9月末現在）

2 認知症高齢者施策の推進

①認知症疾患医療センター運営費補助事業【高齢】

認知症高齢者に切れ目なく支援を提供するため、医療機関同士や介護サービス事業者同士の連携、医療と介護の連携の拠点としての機能を備えた「認知症疾患医療センター」を設置。

- ・ 専門医やサポート医、看護師、精神保健福祉士等の専門スタッフを備え、身体的一般検査、画像診断、神経心理学的検査等の総合的評価が可能な病院等を県が指定

・ H25 県予算額：18,000 千円 【国 1/2、県 1/2】

・ H25 実施状況：3 病院を指定

谷野呉山病院（富山市）、魚津緑ヶ丘病院（魚津市）

国立病院機構北陸病院（南砺市）

相談件数（H25. 9 月末現在）

専門医療相談（電話・面接）2,133 件、鑑別診断 253 件

②新富山県認知症高齢者実態調査事業【高齢】

県内在住の認知症高齢者の実態を把握し、今後取り組みが求められる認知症ケアパス作成、認知症初期集中支援チームや認知症地域支援推進員の円滑な設置及び効果的な活用につなげるための実態調査を実施する。

・ H25 県予算額：1,000 千円

・ H25 実施状況：認知症高齢者実態調査実施委員会の開催（予定）、調査票設計

Ⅲ 高齢者と家族を地域で支える

1 保健・福祉の人材養成と資質向上

①拓とやま福祉人材確保緊急プロジェクト事業【厚企】

・ H25 県予算額（現計）：72,551 千円

新親子夏休み福祉の仕事バスツアー

H25. 8. 2、H25. 8. 6 開催（参加者 22 名）

福祉・介護イメージアップ事業

テレビCMの放映（8 月、11 月に 18 本ずつ）、イメージ映像の作成

「介護の日」新聞広告掲載

新福祉職場就労体験事業

H25. 8 に実施（参加者 7 名）

②介護サービス支援ステーション運営事業【厚企】

県が介護施設等を「介護サービス支援ステーション」として指定し、事業を委託。

各介護施設では、失業者を雇用し業務に従事させながら、介護職員初任者研修の修了等、介護に必要な知識・技能の習得を支援する。

・ H25 県予算額：83,841 千円【国 10/10】

・ H25 実績：20 施設（38 人）

③新訪問看護ステーション人材育成事業【高齢】

離職中の看護師を対象に、訪問看護ステーションにおいて雇用の機会を提供することにより、潜在看護師の掘り起こしを図るとともに、実務経験を付与させながら、成長過程に応じた指導や助言を行い、現場での対応力・判断力等を身につけさせることにより、質の高い人材を育成・確保する。

- ・ H25 県予算額：13,600 千円 【緊急雇用基金・9月補正】
- ・ H25 実施状況：3 施設（3名）（予定）

④医療との連携による安全・安心な介護サービス充実研修事業【高齢】

介護職員によるたんの吸引等の実施のための研修

- ・ H25 県予算額：8,500 千円 【国 1/2、県 1/2】
- ・ 実績：受講者 H24 年度 51 人、H25 年度 74 人（研修中）

⑤新多職種協働在宅チーム医療人材育成事業【高齢】

多職種協働による在宅医療チームづくりを担う地域リーダーによる地域での多職種の研修を行う。

- ・ H25 県予算額：1,939 千円 【国 10/10】
- ・ H25 実施状況：県内市町に委託して実施

⑥主任ケアマネジャー医療介護連携研修事業【高齢】

在宅医療と介護の連携に関する専門研修を実施（訪問診療への同行等を含む）

- ・ H25 県予算額：3,400 千円
- ・ H25 実施状況：H25.12.5～H26.2.3 に実施、研修日数 5 日間
受講者 19 人、協力機関 病院 19 機関、診療所 21 機関

〔参考〕福祉人材の状況

・資格取得者数

資格等の種類	H19 年度末	H21 年度末	H23 年度末	H24 年度末
訪問介護員 2級取得者	14,308 人	17,135 人	19,486 人	20,685 人
1級取得者	1,153 人	1,190 人	1,190 人	1,190 人
介護職員基礎研修課程取得者	14 人	219 人	377 人	541 人
介護福祉士	7,362 人	8,916 人	10,701 人	11,628 人
社会福祉士	812 人	1,063 人	1,290 人	1,353 人
介護支援専門員(ケアマネジャー)	4,116 人	3,252 人	3,619 人	3,582 人
(参考)実務研修受講試験合格者数 累計	4,143 人	4,690 人	5,147 人	5,406 人
主任介護支援専門員(主任ケアマネジャー)	124 人	256 人	384 人	437 人

※介護支援専門員資格については、H18 年度から更新制導入(有効期間5年)

※厚生企画課、高齢福祉課調べ

・介護福祉士養成校の入学者

	H20 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度
定員	210 人	190 人	190 人	190 人
入学者数	131 人	104 人	117 人	108 人
充足率	62.4%	54.7%	61.6%	56.8%

・有効求人倍率

	21年3月	22年3月	23年3月	24年3月	25年3月	25年10月
介護関係	1.32	1.18	1.95	2.00	2.22	2.69
全職種	0.47	0.62	0.86	0.96	0.99	1.22

※富山労働局調べ

〔参考〕介護職員処遇改善交付金・加算の申請状況

	処遇改善交付金			処遇改善加算
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度末
対象事業所数	852事業所	915事業所	1,008事業所	1,080事業所
申請事業所数 〔全事業所に対する割合〕	715事業所 〔84%〕	798事業所 〔87%〕	883事業所 〔88%〕	934事業所 〔87%〕
一人当たり賃金改善額(月額) 〔全国平均〕	15,522円. 〔15,160円〕	15,800円 〔－〕	16,873円 〔－〕	17,867円 〔－〕

※高齢福祉課調べ

2 地域生活支援体制の整備

①ふれあいコミュニティ・ケアネット21事業【厚企】

一人暮らし高齢者や障害者などの地域の要支援者一人ひとりに、地域住民自らがチームを結成し、継続的な見守りや個別支援活動を実施

- ・実施主体：富山県社会福祉協議会、市町村社会福祉協議会
- ・実施地区等：H25/231地区、2,874チーム(H15/40地区、245チーム)
- ・構成員：隣人・友人、保健師・看護師、ホームヘルパー、老人クラブ会員、民生委員、ボランティア等 *市町村社協がコーディネート
- ・活動内容：見守り、安否確認、個別支援（話し相手、ゴミ出し、買物、除雪、外出付添 等）
- ・経費補助：地域福祉活動グループへの補助 @300千円【県1/3】等 H25 県予算額 29,800千円
市町村社会福祉協議会への補助【県1/2、市町村1/2】 H25 県予算額 31,250千円
県社会福祉協議会への補助【県2/3】 H25 県予算額 3,350千円

②新 孤立高齢者等支援プロジェクト事業費【厚企】

地域の福祉課題に対する取組みを紹介した事例集の作成、地域における孤立防止のための研修会の開催などにより、有効な孤立防止策を推進

- ・H25県予算額：1,000千円
- ・H25実績：研修2回開催 小矢部会場77名参加
入善会場106名参加

3 住み慣れた地域における多様な住まいの提供

〔参考〕高齢者向け住まいの数【高齢、建住】

施設種類（居住系）		20年12月 ①	24年度末	25年12月 ②	増加数 ②－①
軽費老人ホーム・ケアハウス	箇所数	24	24	24	0
	床数	1,404	1,404	1,404	0
養護老人ホーム	箇所数	4	4	4	0
	床数	400	380	380	-20
生活支援ハウス	箇所数	5	5	4	0
	床数	72	72	60	-12
有料老人ホーム	箇所数	12	44	52	40
	戸数	395	1,077	1,202	807
介護あんしんアパート	箇所数	7	15	15	8
	戸数	83	185	185	102
シルバーハウジング	箇所数	7	8	8	1
	戸数	150	160	160	10
高齢者向け優良賃貸住宅	箇所数	6	8	8	2
	戸数	206	288	288	82
サービス付き高齢者向け住宅	箇所数	—	32	48	48
	戸数	—	716	1,154	1,154

※高齢福祉課調べ